

元気いっぱい

ほけんだより
平成30年12月
福井市子育て支援室



朝晩は冷え込む時期となってきました。この時期は感染性胃腸炎で体調を崩しやすくなります。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、特に冬季（11月～2月）に流行します。嘔吐や下痢があった場合は、正しく処理して家庭内での感染を防ぎましょう。

【嘔吐物の処理方法】

用意しておくといもの

・使い捨てエプロン

膝まずいて処理を行う際に衣類への付着や飛び散りを防ぐために、膝下までのエプロンで袖があるとよい。
（ゴミ袋に穴を開けて代用可）

・ゴム手袋

2重に手袋をして、手指の傷や2次感染を防ぐ。

・マスク

・次亜塩素酸ナトリウム（台所用塩素系漂白剤（5～6%の次亜塩素酸ナトリウム））

塩素系漂白剤の使用上の注意をよくお読みください。

0.1%の次亜塩素酸ナトリウムは事前に作っておくとよいでしょう。2Lのペットボトル容器に40mLの次亜塩素酸ナトリウムを入れ、水を半分入れます。よく混ぜあわせて、残りの水を加えます。

（ペットボトルのキャップ一杯は約5mLです。）

作った消毒薬は毎日取り替えることが望ましいですが、冷暗所に置いた場合は1週間持ちます。

・2Lペットボトル容器

・ビニール袋（大）/2枚

・ビニール袋（小）/1枚

・ペーパータオル

・新聞紙

嘔吐物の処理手順

窓を開けて空気中に浮遊するウイルスと塩素の刺激臭を外に出します。

手袋、エプロン、マスクなどを着用します。

嘔吐物の処理をします。

新聞紙やペーパータオルで嘔吐物を広く覆い、その上に0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を注ぎ、外側からかき集めるように回収し、嘔吐物を取り除きます。

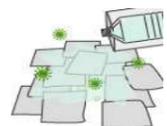
嘔吐物は、半径2～3m程度飛び散っている場合もあります。



新聞紙



ペットボトル



嘔吐物の回収をします。

で回収したものをビニール袋（大）に入れ、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れて密封します。



嘔吐物が付着していた床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた新聞、ペーパータオルや布等で覆い10分ほど置いた後、床全体を水拭きします。



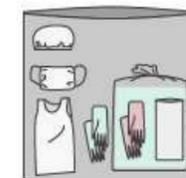
後片付け

嘔吐物を処理したら、帽子、マスク、エプロン、手袋、床を拭いたペーパーなどをはずしてビニール袋（大）に入れます。汚れている面に触れないように注意しましょう。

最後に空気を抜かず固く縛り、一般可燃ゴミへ

ゴミ袋に穴が開いたりしないように、何枚かゴミ袋を重ねるなどしてください。

処理後は、流水と液体石けんでしっかり手洗いをしましょう。



【下痢、軟便の対応ポイント】

・下痢便、軟便時のオムツ交換は、マスクをつけて使い捨て手袋をします。

・オムツはビニール袋を二重にして入れ、ベランダなどに置いた屋外の蓋つきバケツなどで保管し、一般可燃ごみの日に捨てましょう。

・病状が回復したあとでもウイルスは便中に3週間以上排出されることがあるため、オムツ交換後の手洗いはしっかりしましょう。

<嘔吐物や下痢便が布団やリネン類に付着したら・・・>

【リネン等】

付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように処理した後、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いする。

下洗いしたリネンの消毒は、85℃・1分間以上のお湯に浸すか、次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。十分にすすぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まる。

【布団等】

スチームアイロンや布団乾燥機を使って消毒する。

【注意点】

下洗い場所も次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

次亜塩素酸ナトリウムには漂白作用がありますので薬剤の「使用上の注意」を確認してください。